

FD委員会 平成27年度活動総括

FD委員会 委員長(副学長) 今野 弘

1. 平成27年度当初の計画 (簡潔に記載)

I. 教員の資質向上事業

- (1) 各種研修会 (2) 教員表彰 (3) 授業アンケート
- (4) 部局ごとの教員の教育活動の自己点検評価

II. 教育、研究環境の整備事業

- (1) 「授業アンケート」の効果的实施と教育改善
- (2) 「大学評価アンケート」と「大学院アンケート」の改善
- (3) 研究環境整備の検討

III. FD活動の全学的高揚事業

- (1) 各事業への参加率の向上 (2) 大学HPにFDのバナー設置

2. 平成27年度内に実施できたこと

I. 教員の資質向上事業

- (1) 新任教員説明会を入学式後(4/3午後)に開催した。また、11月20日に「第11回教育改善シンジウム」を第1回FD研修会と位置付け、教務委員会との共催で開催した。テーマ:「カリキュラムの改訂について一本学の初年次および補習教育の在り方」 出席者数:68/122
- (2) 教育部門の教員表彰(C科 千葉教授/共通 高橋秀准教授・本田准教授)を実施した。また、研究/社会貢献部門の教員表彰(教職 小川教授/C科 森田教授/A科 石井教授)を実施した。なお、研究・社会貢献部門については、評価基準を見直した。
- (3) Web入力方式に対応して、学生向け・教員向けの回答マニュアルを作成し配布した。研修・セミナーを除く、全科目で実施し、履修者2名以上の科目の結果を公開した。
- (4) 成績評価分布の配付は、各学科の日常的なFD活動に活用するための資料であるため、今後も配布を継続することとした。また、各学科が年度末に提出する全体総括中にFD活動の総括も含まれているため、例年依頼していた各学科へのFD計画と総括の作成は依頼しないこととした。

II. 教育、研究環境の整備事業

- (1) 各教員にスマートフォンによるWeb回答マニュアルを事前に配付し、できるだけ授業中に回答させるよう依頼するなど回答率の向上を図った。また、自由記述に対する回答について、公開用資料の空白や回答の必要がないと判断される記述に対して、事務局で統一した回答を表示した。
- (2) 平成26年度実施のアンケート結果の他、今年度初めて自由記述の主な要望に対する回答を公開した。また、平成27年度のアンケートは、設問の表現等の修正を行い実施した。

III. FD活動の全学的高揚事業

- (2) 大学HPにFDバナーを設置した。

3. 平成27年度内に実施出来なかったこと (その理由)

II. 教育、研究環境の整備事業

- (3) 研究費や学内各種委員会の教員負担の軽減策等は十分に対応できなかった。次年度以降に研究費の効率的な配分や各種委員会の編成などを代議員会と協議していきたい。

III. FD活動の全学的高揚事業

- (1) 教授会後にシンポジウム開催(ショート)を検討したが、日程の都合により、次年度以降に実施することとした。

以上